

報道関係者各位
ニュースリリース

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー

セキュアなWebサイト設計のためのオープンセミナー開催 ～Webサイトの設計者・開発者を対象に「脆弱性を作らせない・作らない」知識を提供～

Webアプリケーションセキュリティのスペシャリスト企業である、株式会社セキュアスカイ・テクノロジー（東京都文京区代表取締役乗口雅充 以下、SST）は12月3日、東京都内で、セキュアなWebサイトを設計・開発するための教育を、1名から参加可能なオープンセミナー形式で開催します。

現在、インターネットを活用したビジネスを推進するにあたり、Webサイトで個人情報を取り扱うことは必要不可欠となっています。その一方で近年、それらの個人情報を狙う攻撃者は、これまでのOSの脆弱性等をターゲットとした攻撃から、Webサイト上のアプリケーションをターゲットにした攻撃へと大きくシフトしており、個人情報やクレジットカード情報が流出する原因のひとつとなっています。しかし、こうした状況の変化に対するWebサイトやWebアプリケーションの開発・運用現場の抜本的対応は遅れており、かつ現場の予算と人員は限られているため、開発から運用まで一貫したWebサイトのセキュリティ対策を実施していくことは、多くの企業にとって困難な課題となっています。

今回開催するセミナーはこうした現状をふまえ、Webサイトの設計者・開発者を対象に、Webアプリケーションの脆弱性問題を把握し、「脆弱性を作らせない・作らない」ための知識を身につけることを目的とした構成となっています。従来のWebアプリケーションのセキュリティに関する教育は、高額な費用に加え、Webアプリケーションの脆弱性を「攻撃者視点」で説明するものが大半でしたが、本セミナーでは、どのように開発を行えば脆弱性を無くすことができるかという「設計者・開発者の視点」を重視した独自のテキスト（総ページ数300ページ）を用い、デモンストレーションも交えて講義を行います。弊社ではこれまで個別の企業の延べ1,000名を超える設計者・開発者向けに本セミナーを提供して参りましたが、今回は対象を広げ、より多くのWebサイトの設計者・開発者に向け、オープンセミナー形式で開催します。

【開催概要】

- 開催日時 : 2009年12月3日(木) 10:00-17:00(9:30 受付開始)
- 参加費用 : 58,800円/人(税込み)
(参考:通常オープンセミナー参加費用は73,500円/人となります)
- 会場 : 関東 ITS 市ヶ谷健保会館(東京都新宿区市谷仲之町 4-39)
地図 (http://www.its-kenpo.or.jp/restaurant/itigaya_kaigisitu/map.html)
- 講師 : 株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
シニアコンサルタント 寺島 弘明
- 募集人数 : 36名(お申し込み先着順となりますのでご了承ください)
- 対象者
 - ◆ 情報セキュリティ部門で企画・運営に携わっている方
 - ◆ Webサイトの企画・運営・設計・開発に携わっている方
 - ◆ いずれもプログラミングの経験は問いません。

- 講義形式

- ◆独自のテキストを用いた座学形式になります。

【内容】

- 安全な Web サイトを構築・運用するために知っておくべきこと
 - ◆なぜ Web サイトが攻撃されるのか
 - ◆セキュアなアプリケーションを開発するために知っておくべきこと
 - ◆セキュリティの原則
- Web アプリケーションへの攻撃手法
 - ◆Web サイトへの攻撃とその特徴
 - ◆Web サーバーへの攻撃手法
 - ◆Web アプリケーションへの攻撃手法
(クロスサイトスクリプティング SQL インジェクション、CSRF など十数種類の攻撃手法について)
- セキュア Web アプリケーションの構築
 - ◆認証
 - ◆アクセス制御
 - ◆HTTPS
 - ◆セッション管理
 - ◆入出力処理
 - ◆エラー処理
 - ◆画面設計に関する注意事項
 - ◆携帯サイト構築の注意点

【会社概要】

社名 : 株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
本社所在地 : 東京都文京区湯島 2-4-3 ソフィアお茶の水 3F
設立 : 2006 年 3 月
代表者 : 代表取締役 乗口 雅充
事業内容 : Web アプリケーションのセキュリティ診断、コンサルティング、教育
URL : <http://www.securesky-tech.com/>



【問い合わせ先】

株式会社セキュアスカイ・テクノロジー
担当 : 埜(ハナワ)
E-mail : info@securesky-tech.com
TEL : 03-6801-8031
FAX : 03-6801-8032